



KYO
NADESHIKO

特集

わたしが
“頻尿”になっても…



広報誌
No. 222

Summer | August 2024

TAKE FREE

KYOTO
SAISEIKAI
HOSPITAL



www.kyoto.saiseikai.or.jp



社会福祉法人
恩賜財団

京都済生会病院

KYOTO SAISEIKAI HOSPITAL

わたしが“頻尿”になっても…



済生会フェア2024の泌尿器科 稲葉医師による人気講座
「わたしが“頻尿”になっても…」が京なでしこに登場！
どこかで聞いたような、口ずさみたくなる記事タイトルにのせて、
気になる“頻尿”について紹介します！

泌尿器科 部長 稲葉 光彦

京なでしこをお読みのみなさん、
最近そういえば、

「尿が近いなあ」

「尿の回数が多いなあ」

と気になった方はいらっしゃるで
しょうか？

そのようなみなさんに少しでも
役に立てばありがたいです。しば
らくお付き合いください。

さて、前述のように、「尿が近
いなあ」「尿の回数が多いなあ」と
気になったらどうしますか？

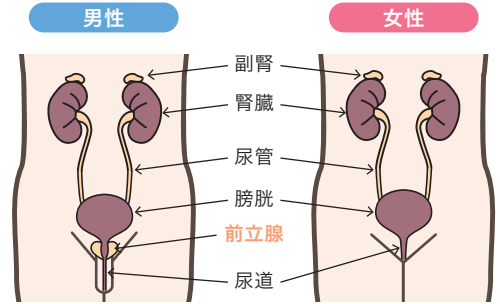
しばらく考えてみて、多くの方
は次の4パターンに当てはまるの
ではないでしょうか。

- 今度、かかりつけ医で相談しよう
- 泌尿器科へ行ってみよう
- ちよつと調べてみよう（近所の
“物知り”に聞いたり、インター
ネット検索したりなど）
- たいしたことないのほうって
おこう

今回は、あなたが泌尿器科を
受診された時に、どのように診察
が進められていくか紹介します。

なお、前立腺は男性だけにある
排尿に関して非常に重要な臓器
ですが、今回は膀胱を中心に説明
します。

尿路の解剖—男女の違い



頻尿の診察

まず、言葉の定義として、日本泌尿器科学会のホームページから抜粋すると、「尿が近い、尿の回数が多い」という症状を「頻尿」といいます。一般的には、朝起きてから就寝までの排尿回数が8回以上の場合を頻尿といえます。しかし、1日の排尿回数は人によってさまざまなので、一概に1日に何回以上の排尿回数であれば異常ともいえず、8回以下の排尿回数でも自分自身で排尿回数が多いと感じる場合には頻尿といえます。

膀胱には、腎臓でつくられた尿を「ためる」「止める」「出す」という働きがあります。これらのうち「ためる働き」と「出す働き」の具合が悪くなると頻尿になる可能性が考えられます。

もし頻尿症状があり、泌尿器科を受診された場合、まず次の3つから膀胱のどの働きに問題があるのかを確認していきます。

1 問診

2 尿検査

3 超音波検査

1 問診

問診では、

- 排尿の間隔（何時間毎か）
- 1回の排尿量（多いか・少ないか）
- 頻尿になる時間帯（午前・午後・1日中・睡眠中など）
- その他の排尿症状の有無（排尿困難・残尿感・排尿時痛など）
- 既往症の有無（糖尿病・脳神経疾患・直腸がん・子宮がんなどの手術歴）
- 既往症での内服薬など

を確認します。中には1日の排尿時間と1回の排尿量を記録し

てもらい、診療の参考にすることもあります。

月 日から翌日		起床時間 就寝時間			
排尿時間	排尿量(ml)	起床時間	就寝時間	起床時間	就寝時間
朝 8時	100	200	夜 20時	50	100
朝 9時	50		朝 5時		
朝 10時	50		朝 6時		
朝 11時	50		朝 7時		
朝 12時	50		朝 8時		
朝 13時	50		朝 9時		
朝 14時	50		朝 10時		
朝 15時	50		朝 11時		
朝 16時	50		朝 12時		
朝 17時	50		朝 13時		
朝 18時	50		朝 14時		
朝 19時	50		朝 15時		
朝 20時	50		朝 16時		
朝 21時	50		朝 17時		
朝 22時	50		朝 18時		
朝 23時	50		朝 19時		
朝 24時	50		朝 20時		
朝 25時	50		朝 21時		
朝 26時	50		朝 22時		
朝 27時	50		朝 23時		
朝 28時	50		朝 24時		
朝 29時	50		朝 25時		
朝 30時	50		朝 26時		
朝 31時	50		朝 27時		
朝 32時	50		朝 28時		
朝 33時	50		朝 29時		
朝 34時	50		朝 30時		
朝 35時	50		朝 31時		
朝 36時	50		朝 32時		
朝 37時	50		朝 33時		
朝 38時	50		朝 34時		
朝 39時	50		朝 35時		
朝 40時	50		朝 36時		
朝 41時	50		朝 37時		
朝 42時	50		朝 38時		
朝 43時	50		朝 39時		
朝 44時	50		朝 40時		
朝 45時	50		朝 41時		
朝 46時	50		朝 42時		
朝 47時	50		朝 43時		
朝 48時	50		朝 44時		
朝 49時	50		朝 45時		
朝 50時	50		朝 46時		
朝 51時	50		朝 47時		
朝 52時	50		朝 48時		
朝 53時	50		朝 49時		
朝 54時	50		朝 50時		
朝 55時	50		朝 51時		
朝 56時	50		朝 52時		
朝 57時	50		朝 53時		
朝 58時	50		朝 54時		
朝 59時	50		朝 55時		
朝 60時	50		朝 56時		
朝 61時	50		朝 57時		
朝 62時	50		朝 58時		
朝 63時	50		朝 59時		
朝 64時	50		朝 60時		
朝 65時	50		朝 61時		
朝 66時	50		朝 62時		
朝 67時	50		朝 63時		
朝 68時	50		朝 64時		
朝 69時	50		朝 65時		
朝 70時	50		朝 66時		
朝 71時	50		朝 67時		
朝 72時	50		朝 68時		
朝 73時	50		朝 69時		
朝 74時	50		朝 70時		
朝 75時	50		朝 71時		
朝 76時	50		朝 72時		
朝 77時	50		朝 73時		
朝 78時	50		朝 74時		
朝 79時	50		朝 75時		
朝 80時	50		朝 76時		
朝 81時	50		朝 77時		
朝 82時	50		朝 78時		
朝 83時	50		朝 79時		
朝 84時	50		朝 80時		
朝 85時	50		朝 81時		
朝 86時	50		朝 82時		
朝 87時	50		朝 83時		
朝 88時	50		朝 84時		
朝 89時	50		朝 85時		
朝 90時	50		朝 86時		
朝 91時	50		朝 87時		
朝 92時	50		朝 88時		
朝 93時	50		朝 89時		
朝 94時	50		朝 90時		
朝 95時	50		朝 91時		
朝 96時	50		朝 92時		
朝 97時	50		朝 93時		
朝 98時	50		朝 94時		
朝 99時	50		朝 95時		
朝 100時	50		朝 96時		
朝 101時	50		朝 97時		
朝 102時	50		朝 98時		
朝 103時	50		朝 99時		
朝 104時	50		朝 100時		
朝 105時	50		朝 101時		
朝 106時	50		朝 102時		
朝 107時	50		朝 103時		
朝 108時	50		朝 104時		
朝 109時	50		朝 105時		
朝 110時	50		朝 106時		
朝 111時	50		朝 107時		
朝 112時	50		朝 108時		
朝 113時	50		朝 109時		
朝 114時	50		朝 110時		
朝 115時	50		朝 111時		
朝 116時	50		朝 112時		
朝 117時	50		朝 113時		
朝 118時	50		朝 114時		
朝 119時	50		朝 115時		
朝 120時	50		朝 116時		
朝 121時	50		朝 117時		
朝 122時	50		朝 118時		
朝 123時	50		朝 119時		
朝 124時	50		朝 120時		
朝 125時	50		朝 121時		
朝 126時	50		朝 122時		
朝 127時	50		朝 123時		
朝 128時	50		朝 124時		
朝 129時	50		朝 125時		
朝 130時	50		朝 126時		
朝 131時	50		朝 127時		
朝 132時	50		朝 128時		
朝 133時	50		朝 129時		
朝 134時	50		朝 130時		
朝 135時	50		朝 131時		
朝 136時	50		朝 132時		
朝 137時	50		朝 133時		
朝 138時	50		朝 134時		
朝 139時	50		朝 135時		
朝 140時	50		朝 136時		
朝 141時	50		朝 137時		
朝 142時	50		朝 138時		
朝 143時	50		朝 139時		
朝 144時	50		朝 140時		
朝 145時	50		朝 141時		
朝 146時	50		朝 142時		
朝 147時	50		朝 143時		
朝 148時	50		朝 144時		
朝 149時	50		朝 145時		
朝 150時	50		朝 146時		
朝 151時	50		朝 147時		
朝 152時	50		朝 148時		
朝 153時	50		朝 149時		
朝 154時	50		朝 150時		
朝 155時	50		朝 151時		
朝 156時	50		朝 152時		
朝 157時	50		朝 153時		
朝 158時	50		朝 154時		
朝 159時	50		朝 155時		
朝 160時	50		朝 156時		
朝 161時	50		朝 157時		
朝 162時	50		朝 158時		
朝 163時	50		朝 159時		
朝 164時	50		朝 160時		
朝 165時	50		朝 161時		
朝 166時	50		朝 162時		
朝 167時	50		朝 163時		
朝 168時	50		朝 164時		
朝 169時	50		朝 165時		
朝 170時	50		朝 166時		
朝 171時	50		朝 167時		
朝 172時	50		朝 168時		
朝 173時	50		朝 169時		
朝 174時	50		朝 170時		
朝 175時	50		朝 171時		
朝 176時	50		朝 172時		
朝 177時	50		朝 173時		
朝 178時	50		朝 174時		
朝 179時	50		朝 175時		
朝 180時	50		朝 176時		
朝 181時	50		朝 177時		
朝 182時	50		朝 178時		
朝 183時	50		朝 179時		
朝 184時	50		朝 180時		
朝 185時	50		朝 181時		
朝 186時	50		朝 182時		
朝 187時	50		朝 183時		
朝 188時	50		朝 184時		
朝 189時	50		朝 185時		
朝 190時	50		朝 186時		
朝 191時	50		朝 187時		
朝 192時	50		朝 188時		
朝 193時	50		朝 189時		
朝 194時	50		朝 190時		
朝 195時	50		朝 191時		
朝 196時	50		朝 192時		
朝 197時	50		朝 193時		
朝 198時	50		朝 194時		
朝 199時	50		朝 195時		
朝 200時	50		朝 196時		
朝 201時	50		朝 197時		
朝 202時	50		朝 198時		
朝 203時	50		朝 199時		
朝 204時	50		朝 200時		
朝 205時	50		朝 201時		
朝 206時	50		朝 202時		
朝 207時	50		朝 203時		
朝 208時	50		朝 204時		
朝 209時	50		朝 205時		
朝 210時	50		朝 206時		
朝 211時	50		朝 207時		
朝 212時	50		朝 208時		
朝 213時	50		朝 209時		
朝 214時	50		朝 210時		
朝 215時	50		朝 211時		
朝 216時	50		朝 212時		
朝 217時	50		朝 213時		
朝 218時	50		朝 214時		
朝 219時	50		朝 215時		
朝 220時	50		朝 216時		
朝 221時	50		朝 217時		
朝 222時	50		朝 218時		
朝 223時	50		朝 219時		
朝 224時	50		朝 220時		
朝 225時	50		朝 221時		
朝 226時	50		朝 222時		
朝 227時	50		朝 223時		
朝 228時	50		朝 224時		
朝 229時	50		朝 225時		
朝 230時	50		朝 226時		
朝 231時	50		朝 227時		
朝 232時	50		朝 228時		
朝 233時	50		朝 229時		
朝 234時	50		朝 230時		
朝 235時	50		朝 231時		
朝 236時	50		朝 232時		
朝 237時	50		朝 233時		
朝 238時	50		朝 234時		
朝 239時	50		朝 235時		
朝 240時	50		朝 236時		
朝 241時	50		朝 237時		
朝 242時	50		朝 238時		
朝 243時	50		朝 239時		
朝 244時	50		朝 240時		
朝 245時	50		朝 241時		
朝 246時	50		朝 242時		
朝 247時	50		朝 243時		
朝 248時	50		朝 244時		
朝 249時	50		朝 245時		
朝 250時	50		朝 246時		
朝 251時	50		朝 247時		
朝 252時	50		朝 248時		
朝 253時	50		朝 249時		
朝 254時	50		朝 250時		
朝 255時	50		朝 251時		
朝 256時	50		朝 252時		
朝 257時	50		朝 253時		
朝 258時	50		朝 254時		
朝 259時	50		朝 255時		
朝 260時	50		朝 256時		
朝 261時	50		朝 257時		
朝 262時	50		朝 258時		
朝 263時	50		朝 259時		
朝 264時	50		朝 260時		
朝 265時	50		朝 261時		
朝 266時	50		朝 262時		
朝 267時	50		朝 263時		
朝 268時	50		朝 264時		
朝 269時	50		朝 265時		
朝 270時	50		朝 266時		
朝 271時	50		朝 267時		
朝 272時	50		朝 268時		
朝 273時	50		朝 269時		
朝 274時	50		朝 270時		
朝 275時	50		朝 271時		
朝 276時	50		朝 272時		
朝 277時	50		朝 273時		
朝 278時	50		朝 274時		
朝 279時	50		朝 275時		
朝 280時	50		朝 276時		
朝 281時	50		朝 277時		
朝 282時	50		朝 278時		
朝 283時	50		朝 279時		
朝 284時	50		朝 280時		
朝 285時					

患の有無、あと男性の場合は前立腺肥大症などの前立腺疾患の有無を確認したりします。

頻尿の状態を確認

診察の結果、次のどの病態で頻尿症状をきたしているのかを判断します。

- ① 1日の尿量に問題がなく、膀胱容量が小さいため、残尿が少なくても、頻尿となる方
- ② 1日の尿量に問題がなく、膀胱容量が正常でも、残尿が多く、頻尿となる方
- ③ 1日の尿量が多いため、膀胱容量が正常で、残尿が少なくても、頻尿となる方
- ④ 上記以外の病態が原因と考えられる方

治療

治療に関しては、前述のそれぞれの病態に応じて考えます。

- ① の場合、膀胱を広げる作用のある薬剤を試してみます。この系統の薬剤は何種類もあり、いろいろと試すことができます。

- ② の場合、①の薬剤は残尿が増え、排尿ができなくなる可能性もあるため処方できませんので、まずは残尿量を減少させる薬剤を試します。

- ③ の場合、膀胱機能は問題がないため、可能であれば飲水制限などの生活指導を中心に行います。1日の尿量が問題ない量にまで減少できれば、頻尿症状も改善することが期待できます。

- ④ の場合、それぞれの原因に対する治療が中心で、補助的に上記①②③の治療をします。病態によって症状改善の困難になる可能性があります。

以上、頻尿症状があり泌尿器科を受診されたら、どのように診療が進められるか簡単ではありませんがご紹介しました。実際には誌面で紹介しきれないような詳細な部分にも原因があったり、複数の原因が重なりあったりする可能性はありますが、それぞれの患者さんの頻尿症状をきたす病態にそった治療を考え、症状改善を目指していきます。

最後になりましたが、もし頻尿になっても「何とかなる」かもしれません。

頻尿以外の排尿症状でもかまいません。何か排尿状態について気になるようでしたら、一度お近くの泌尿器科への受診を考えてみてくださいはいかがでしょうか。



稲葉 光彦 (いなば みつひこ)

泌尿器科 部長

1996年 滋賀医科大学卒業。

京都第一赤十字病院、大阪府済生会吹田病院、松下記念病院等を経て、2017年4月より現職。日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医、日本透析医学会認定透析専門医。

こんにちは

HCU です。



安心・安全の医療と看護の提供を目指しています

当院のHCUは乙訓地域で唯一の高度急性期の医療と看護を担う病床です。「医療を通して地域に貢献」を理念とする京都済生会病院が、地域みなさんに頼られる病院であるために、その役目が果たせるようにがんばっています。

「命によりそい」



多職種連携と協働を大切に…主役は患者さんです

近年、高度化する医療において、治療のゴールはさまざまな形になっています。みなさんが住み慣れた街で生活に戻れる医療を目標に、多くの専門職種と常に話し合い、患者さんにとっての最善を、患者さん自身で選択してもらえる支援を目指してがんばっています。



「命をまもり」

安心・安全がモットーです

安心・安全な医療提供のために、「確認」をいつも大切にしています。治療に関わることはもちろん、患者さんの不安に耳を傾ける、思いを確認することを忘れずに、医療チーム内で情報を共有し、確認する姿勢を大切にしています。

「命を救う」

質の高い医療提供ができるように…

新病院に移転して、3年目を迎えます。先進的な設備が整った環境の中で、質の高い医療と心のこもった看護を提供できるよう、常に各スタッフが自己研鑽し、またチームワークを大切に、部署内での教育にも努めています。



INFORMATION



創立 95 周年 を迎えました！

当院は、1929（昭和4）年7月2日に済生会京都府病院として京都市北区に開院しました。1983（昭和58）年7月15日に長岡京市に新築移転、2022（令和4）年6月1日に同市に新築移転し、今年の7月2日に創立95周年を迎えました。これからの100年に向けて「いまでもこれからあなたとともに」地域医療に貢献します。



長岡京市

「にじいろ企業」に登録

2024年6月より長岡京市では、企業や事業所と行政が一体となって性の多様性への理解促進を図ることを目的に「長岡京市にじいろ企業登録制度」を開始しました。当院はこの主旨に賛同し「長岡京市にじいろ企業」に登録しました。性の多様性への理解促進に取り組み、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、支援の輪をひろげていきます。



読者アンケートにご協力ください

いつも「京なでしこ」をお読みいただきありがとうございます。
みなさまのご意見・ご感想をぜひお寄せください。

読者アンケートは
こちらの二次元コードから



旬の食材と栄養

エダマメ



エダマメは、完熟する前の「大豆」です。エダマメは野菜で大豆は豆類です。大豆と同様に栄養が豊富で、肉の肉とも呼ばれます。良質なたんぱく質、糖質をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富で、ビタミンC、鉄、葉酸は貧血予防に、食物繊維、大豆サポニン、レシチンは生活習慣病の予防に効果的です。

暑い夏、キンキンに冷えたビールにエダマメは定番ですが、実は相性抜群。エダマメのたんぱく質とビタミン類に含まれるアミノ酸メチオニンにはアルコールの分解をサポートする役割があります。

スーパードではなかなか見かけることではないですが、枝付きのエダマメは新鮮です。サヤにうぶ毛がしっかりと付いた豆がふっくらとしているものを選び、購入後はすぐに茹でましょう。すぐに食べない時は、硬めに茹でて水分を切ってから冷凍すると便利です。

昭和から令和に受け継がれる 「医療ソーシャルワーカー」のあゆみ

福祉相談室長 島田浩

医療ソーシャルワーカーとは

みなさん「医療ソーシャルワーカー」という仕事を知っていますか？「医療ソーシャルワーカー」とは職種名称であり、資格名ではありません。「医療ソーシャルワーカー」の基礎資格は社会福祉士（国家資格）であり、保健医療機関で相談援助業務を行う社会福祉士を指します。社会福祉の立場から患者さんやご家族が抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行っています。

医療ソーシャルワーカーの歴史は古く、イギリスで発祥し、日本においても1929（昭和4）年、東京の聖路加国際病院や済生会中央病院で日本最初の医療ソーシャルワーカーが採用されています。

当院の医療ソーシャルワーカーのあゆみ

当院の医療ソーシャルワーカーの歴史は長く、初代医療ソーシャルワーカーは、1949（昭和24）年に配置されています。

当院は1929（昭和4）年に京都市北区に開設され、1933（昭和8）年には、救療患者の付添人のあっせんなど救療患者の福祉増進を図ることを目的に東京・大阪に次いで院内に済生会社会部が設置されました。戦後、この社会部は一旦廃止されましたが、その活動は医療ソーシャルワーカーを中心とした医療社会事業に引き継がれました。

当院での医療ソーシャルワーカーの活動は、京都府内における草分けであり、現在も当時の相談カードや業務年報が大切に保管されています。医療ソーシャルワーカーが配属された当初の相談

カードには、医療費の支払いに困る患者さんの記録が残されています。医療ソーシャルワーカーが患者さんの親族宅を訪問し、経済的支援を求めたり、民生委員の協力を得たりなどの活動が記されています。また、退院後の療養相談として養老院（当時）への手配、いわゆる退院支援も行っていました。当時の業務年報を見ると、生活保護のあっせんなど、経済的な相談が多くを占めていました。これは、当時の社会状況や社会保障体制が相談内容に大きく影響していたことを表しています。

昭和から令和に受け継がれる活動

その後、医療ソーシャルワーカーは1名から2名体制となり、病院の長岡京市への移転後は、市の委託事業や介護保険制度の創設に伴い増員されました。2022（令和4）年の新病院移転後は、1階の患者総合サポートセンター内に福祉相談室が設置され、現在は6名の医療ソーシャルワーカーが、患者さんやご家族の相談だけでなく「なでしこプラン」（済生会生活困窮者支援事業）など地域活動にも積極的に取り組んでいます。

医療ソーシャルワーカーは、患者さんやその家族が抱えるさまざまな生活課題に対して支援を行う存在として、脈々と受け継がれています。

1 | 2 | 3

1. 福祉相談室には古い資料が保管されている。2. 当院に残る最も古い相談カード。昭和24年のもの。3. 当院の医療ソーシャルワーカー（右から3人目が筆者）。



ことば のあや

15

「いさめる」という言葉を聞くと上の立場の人が下の立場の人に注意する場面をイメージする方が多いと思います。ですが本来の意味は反対で、下の立場の人が上の立場の人に対して使う言葉です。ちなみに上から下へは「たしなめる」を使います。では「役不足」はどうでしょう。役目に対して人の力が足りないという意味で使う方がいますが、本来は人の力に対して役目の方が劣ることです。「言葉は生き物」とはよく言ったもので、誤用されていく中で「間違っている方が正しい」と認識されていく様は、まるで進化する生き物のようで面白いですね。しかし言葉の認識に齟齬があると誤解を招きかねません。次世代には正しい日本語を正しく引き継いでいきたいものです。(S)

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 とは

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約66,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を **済**(すく)う
- 医療で地域の **生**(いのち)を守る
- 医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇・・・悩むすべてのいのちの虹になりたい。
済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

総裁：秋篠宮皇嗣殿下 会長：潮谷 義子 理事長：炭谷 茂

なでしこ紋章の由来



初代総裁・伏見宮貞愛(ふしみのみやさだなる)親王殿下は、明治45年、済生会の事業の精神を、野に咲く撫子(なでしこ)に託して次のように歌にお詠みになりました。

露にふす 末野の小草 いかにぞと あさ夕かかる わがこころかな

野の果てで、露に打たれてしおれるナデシコのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかけてしかたがないこの歌にちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花葉に露をあしらったものを、大正1年以来、済生会の紋章としています。

saiseikai.or.jp



KYOTO SAISEIKAI HOSPITAL

理念

思いやりの心・質の高い医療・明るい職場 ～医療を通して地域に貢献～

基本方針

- 患者さん本位の良質で安全・適切な医療の提供
- 地域に応える連携・救急・災害医療・健診と地域包括ケアの推進
- 多職種によるチーム医療と協働の推進
- 人材育成・確保、勤務環境改善と働き方改革の推進
- 継続的な改善活動と健全経営の確保

受診案内

診療受付時間 8:50～11:00(予約診療の方は17時まで)

診療開始時間 9:00から

休診日 土・日・祝日・年末年始

救急受付 24時間可能な限り対応

(ご連絡のうえ来院してください。TEL 075-955-0111)

受診の際はおくすり手帳をお忘れなく



交通案内

駐車場あり(147台・有料)

- 阪急京都線「西山天王山駅」下車、西改札出口より徒歩5分
- 阪急バス：1・3・80・82系統停車(停留所：京都済生会病院)
- はっぴいバス：全ルート乗り入れ(停留所：京都済生会病院)

Facebook



Instagram



X



LINE公式



社会福祉法人
恩賜財団 京都済生会病院
KYOTO SAISEIKAI HOSPITAL

〒617-8617 京都府長岡京市下海印寺下内田101番地 TEL 075-955-0111(代表) FAX 075-954-8255 <https://www.kyoto.saiseikai.or.jp/>